大阪副首都プロジェクト
北摂・万博記念公園に国の第二拠点を

未来を、ともに
つくる大阪から



東京にもしもの時、
副首都が日本を支える！

大阪副首都プロジェクト代表
高槻市議会議員
小森 さだゆき

東京に大きな災害が起きた時に備え、
東西に国の拠点を持つ。それが副首都構想です。

私たちは、万博記念公園を中心とした
大阪・北摂の可能性を調べ、市民・議員・専門家
とともに議論を広げていきます。

高槻も、副首都を支える北摂の一員です。

- 政党や会派の立場を超えて考える民間プロジェクトです
- 特定の政党から支持・後援を受けて運営するプロジェクトではありません
- 副首都構想と都構想は全く別のプロジェクトです

人数把握のため、
可能な方は事前にご連絡ください

詳細はWebで
公式サイト fukushuto.jp

大阪副首都構想について、一緒に考えてみませんか？

参加無料・当日参加歓迎
お気軽にお越しください。

第１回	10月31日（土）	10:00～11:00	会場：クロスパル高槻 201号室
第２回	11月　7日（土）	18:00～19:00	会場：クロスパル高槻 201号室
第３回	11月15日（日）	13:00～14:00	会場：クロスパル高槻 402号室
第４回	11月21日（土）	10:00～11:00	会場：クロスパル高槻 402号室

ボランティア・支援者募集中

ひと・まち・
未来につながる

万博公園の自然を活かした北摂から描く副首都

豊かな自然からつながる、より強く、より暮らしやすい日本の未来へ

東京一極集中への備えとして、国の機能を東西で支える。
その可能性を、北摂の自然、広さ、交通、暮らしの基盤から考えます。

みんなで考えるこれからの日本

東京に集中する機能を分散する

政治・行政、情報・通信、経済、交通。東京に集中する重要な機能が、地震や停電、通信障害などで同時に止まるリスクに備えます。



東京と大阪・北摂、二つの拠点で日本を支える

平時は情報や仕事を分かち合い、非常時には必要な政治・行政機能をもう一方の拠点が支える。東西二つの拠点を持つ考え方です。







大阪・北摂が引き継ぐ、国の仕事

国の方針決定、自治体との連絡、救助・医療・物資の調整、国民への情報発信など。東京の機能が止まった時にも、国の仕事を続けられる仕組みを考えます。



万博記念公園周辺には、広さと暮らしの基盤がある

万博記念公園は約260haの広大な空間。周辺には住宅地、大学・研究機関、高度医療機関などが集まっています。





北摂の交通と防災を、もっと強く

副首都を支える交通・防災基盤の整備を考えます。伊丹空港へのアクセス向上や、避難・医療・物資輸送など、北摂全体の防災力向上につなげます。



暮らしやすい北摂を、さらに充実させる

交通、防災、医療、教育、公共空間などを一体的に考える。副首都だけでなく、今住んでいる人にとっても暮らしやすい地域づくりにつなげられるかを検討します。



広さと災害への備え。
二つの条件から、北摂の可能性を考える。



北摂の副首都構想、あなたはどう考えますか?

期待すること、心配なこと、もっと知りたいことなど、ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。

大阪副首都プロジェクト
ご意見フォーム

みんなの声で、よりよい未来を。